

## 平成21年度第5回小平市図書館協議会要録

1. 日 時 平成22年1月28日(木) 午後2時～4時30分
2. 会 場 中央図書館会議室
3. 出席者 協議会委員：11名(欠席1名) 傍聴者：3名  
事務局：中央図書館長 館長補佐兼庶務係長 館長補佐兼調査係長  
花小金井図書館長(副参事) サービス係長 資料係長  
津田図書館長 計7名
4. 配付資料 資料については、省略させていただきます。
5. 議題等
  - (1) 報告事項
    - ①図書館運営状況について
      - ・図書館事業等の報告と今後の予定について(資料No. 1)(これまでの報告)
      - ・11月21日 福祉講演会「障がい児とともに育つおやじたち」平井秀夫氏 23人
      - ・11月26日 児童文学講演会「絵本にえがかれた家族」市村久子氏 37人
      - ・12月 8日 図書館バックヤードツアー 試行 7人
      - ・12月10日 『赤毛のアン』が生まれるまで～村岡花子の生涯～ 村岡恵理氏 92人
      - ・1月23日 ブックリサイクル(雑誌) 中央公民館、地区図書館リサイクルコーナー(今後の予定)
      - ・2月4日～18日 東京都多摩地域公立図書館大会 会場：国分寺市いずみホール他
      - ・2月 6日 講演会「学校図書館と公立図書館～人が育つ場と方法として～」竹内愼氏
      - ・2月20日 ブックリサイクル(一般書、児童書)
      - ・2月20日～3月17日 郷土写真展 中央図書館、地区図書館
      - ・平成21年度月別貸出状況について(資料No. 2)  
12月末現在の月別貸出数は、約122万冊で昨年同期と比較して約2万冊増加している。  
特に、中央図書館、花小金井図書館、喜平図書館の貸出数が伸びている。
      - ・広域利用市別貸出(資料No. 3)  
特に東村山市との相互利用が進んでいる
    - ②12月市議会定例会について  
図書館への質問は1件
      - ・仲町図書館のIT(情報技術)を駆使した図書館について
    - ③ふるさと新聞元旦号展について
      - ・1/5～1/14 中央図書館

・1/16～1/20 大沼図書館

景気の低迷等により、催しに協力していただける地方新聞社が減少している。

④「小平の歴史を拓く（下）」が12月14日に発刊され、中央図書館、地区図書館等で販売中。

⑤第2次小平市子ども読書活動計画推進計画（素案・原案）について

このことについて、12/20から1/8まで市民公募（パブリックコメント）を行った結果

3人、1団体から重複したものも含め全体として83件の貴重な意見が寄せられた。

主な意見として

・第2次推進計画の全体について

全体として、何を重視して推進計画が作成したのか不明確である。

・第1章「地域での本の出会い」について

子ども文庫の他にも、地域の団体として地域活動している団体もあるので、推進計画の作成段階で考慮してほしい。

・第3章「乳幼児へのサービス」について

3・4か月健診時でのリストの内容・配布方法についての具体的な提案

〈報告についての質疑・応答〉

委員 第2次小平市子ども読書活動推進計画のパブリックコメントの回答はいつごろ出るのか。今後の予定を聞かせてほしい。

事務局 公表する時期は未定であるが、小平市ホームページ等で紹介していきたい。

委員 子ども文庫からの要望を推進計画に、少しでもぜひ取り入れてほしい。

委員 2月・3月には、「おはなし会スペシャル」「おはなし会祝日スペシャル」が予定されているが、目的・意図は何か。また、小平第十五小ブックトークの今後の計画は。

事務局 おはなし会のスペシャルバージョンは、若い職員からの提案により企画した。試行の段階であるが、今後状況を見て拡大していきたい。

事務局 小平十五小のブックトークは、司書教諭の依頼により全学年を対象に図書館職員4人で3日間実施。全教諭を対象にしたブックトーク講座も予定。今後、図書館と学校図書館との連携を深める意味で継続していきたい。

委員 “スペシャル”という発想が大変良い。今後、中学生を対象に「中学生スペシャル」というものをぜひ実施してほしい。中学生も図書に対する自覚が深まる。

委員 図書館バックヤード（試行）に参加して、普段見られないところを見ることができ、知らなかったことも知ることができたいへん楽しかった。今後の方向性については、どう考えているか。

事務局 来年度以降、方向性については検討していきたい。

委員 中学校では、ブックトークは小平第五中学校のみ実施している。

委員 花小金井小学校の図書館研究会では、“図書館ブックトーク”がキーワードとなっている。ブックトークの手法を通じて子どもたちが、本の世界に浸って次から次へ本を読むような読書意欲を育成できると良いと思う。

委員 学校図書館協力員がブックトークをできるようになるといい。

- 委員 花小金井小学校では、中央図書館職員の協力によりブックトーク研修会を行い、それが刺激となって研究授業につながった。
- 委員 仲町図書館・公民館の合築の在り方については、平成19年の図書館協議会で提言をした際には、ITは前面に出ていなかったが、いつの間にITに特化されたのか。新しい図書館にふさわしいものにしてほしい。
- 事務局 提言と長期総合計画とほぼ並行したが、駆使という表現になった。ハイブリッド型図書館を考えていたが、容積率等の問題で自動書庫の確保は不可能であり、実際にはITの駆使、特化は難しい。取り込めるものは、取り込むということになる。
- 委員 高校生が長時間、喫茶店でパソコンを操作しているという話があったが、小平市では図書館へのパソコンの持ち込みを認めるのか。
- 事務局 一般的には図書館は本を貸し出す場所だが、中央図書館の参考室に2席ほど、電源を使用してパソコンができるような席を設けている。将来、仲町図書館にもこのような席を設けたい。
- 委員 パソコンの使用に当たって、時間制限を設けたらどうか。
- 事務局 2時間を1コマにすることを考えている。
- 委員 この1年間、8つある小平市立図書館では、どんな問題点があったのか。地区館のことはよく知らないので、時間があれば回って課題を抽出してもいいのではないか。
- 委員 東京都多摩地域図書館大会に、委員も一般として参加できるのか。
- 事務局 大会事務局に確認したところ、委員がまとまって参加するのであれば、席を確保するが、そうでなければ一般として参加することで構わないとのことである。
- 委員 中央図書館の参考室のデータベースの利用率はどうか。
- 事務局 平成19年が79件、平成20年が77件の利用があった。3種類（朝日新聞記事データベース 聞蔵Ⅱビジュアル、第一法規法律情報総合データベースD1 - Law.com、国立印刷局 官報情報検索サービス）のデータベースを用意している。利用が少ない理由として、PRが足りないと思うので、パンフレットの作成を検討したい。本を使ってものを調べるケースが少なくなっているので、データベースの充実を図るとともに、参考室の使い方も知らせていきたい。
- 委員 家庭でインターネットを使う人が増えているのではないか。
- 事務局 調べ物に関して、インターネットの利用方法も上手になってきている。東京都の場合、オンラインデータベースよりもインターネットがよく使われている。
- 委員 障がい者サービスの案内パンフレット作成はどうなっているのか。
- 事務局 まず担当者に現行の障がい者サービスを周知し、さらに他の職員へ周知を進めていたが、現行と違う箇所もあり再度見直しが必要になった。さらに、2月に郵便法の改正により要綱の見直しを含めて全体を見直し、職員全体会で現行サービスを周知徹底していきたい。
- 委員 障がい者やその家族、関係者等のために、早めに案内パンフレットを作成してほしい。
- 委員 子ども読書活動推進計画に新しい施策があれば教えてほしい。今後、父親を巻き込んだ読書活動が重要になってくる。
- 委員 大人と子どもが本を読みながら話し合い、子どもたちが“自分の世界をもつ機会を作る”

ことが重要である。また、友達同士での本の貸し借りも本を楽しむ大きなきっかけにもなる。

委員 アメリカでは公文書を自由に閲覧できる。日本では2011年に公文書の法整備が予定されているが、小平市の現状はどうか。

事務局 当市の場合、保存期間の過ぎた公文書は捨てることが優先されるため、50周年記念事業としての市史編さん作業で、資料が少ないことがネックになっている。今後、公文書の保存はどうあるべきなのか大きな検討課題になってくると思われる。

委員 小平市政のマニフェストにもあるように、広域利用の一環として国分寺市との相互利用の推進を図ってほしい。

事務局 相互利用のための図書館同士でのやりとりはまだ行っていない。現在は、政策課レベルで調整を行っている段階である。